

鉄軌道事業者によるお子様連れ利用者向けの取組

国土交通省 鉄道局

都市部の路線における取組

- 都市部の路線においては、小さなお子様連れやベビーカーをご利用の方も安心して利用できる車内スペースを設置。
- 東京都交通局では、都営地下鉄各線における「子育て応援スペース」設置車両の運行など、小さなお子様連れの方に安心してご利用いただける環境づくりを推進。
- 西武鉄道や京都市交通局では、一部の車両に、ベビーカーをご利用のお客さまも安心して利用できるよう、従来からの車椅子スペースよりも広いスペースを設置。

東京都交通局「子育て応援スペース」



浅草線、三田線、新宿線、大江戸線の車両に設置。

西武鉄道「パートナーゾーン」



40000系車両の乗務員室付近に設置。池袋線、新宿線等において運行。

京都市交通局「おもいやりエリア」



20系車両の乗務員室付近に設置。烏丸線において運行。

新幹線における取組

- 東海道新幹線において、夏休みや冬休みなどの帰省・旅行シーズンに「お子さま連れ車両」を設定。
- 山陽新幹線において、一部の車両に「お子様向け運転台」を設置。

東海道新幹線「お子さま連れ車両」

「お子さまとの旅を気兼ねなく」
東海道新幹線

お子さま連れ車両

7～9月の運行予定

終了しました
3連休（海の日） 2025年7月19日（土）・21日（月）

お盆 2025年8月8日（金）～17日（日）

3連休（敬老の日） 2025年9月13日（土）・15日（月）

連休中のご家族での移動はお子さま連れ車両で

＼お子さま連れ車両のポイント／

POINT 1

周囲に気兼ねなく
ご乗車いただくための
お子さま連れの方向け車両！

POINT 2

おむつ替えができる
トイレや多目的室に近い
12号車に設定

設備のご案内はこちら 🔍

POINT 3

EXサービスなら
ネットから簡単予約！

購入はこちらから ▼

山陽新幹線「お子様向け運転台」



こだま号で運行されている500系車両の8号車に設置。

走行中の車内でハンドル操作を行うことにより、実際に運転しているような臨場感を味わうことができる。

駅構内における取組

- 鉄道事業者においては、列車のみならず駅構内においても、小さなお子様連れのお客様向けに、授乳室や紙おむつ自販機の設置や、ベビーカーのレンタルサービスを行っている。

小田急電鉄 下北沢駅他15駅 「ベビーケアルーム」



「mamaro™」利用イメージ

ソファやスツール、コンセントがある完全プライベート空間を設置。人目を気にせず、おむつ替えや授乳などにご利用が可能。

大阪メトロ なんば駅他 「紙おむつ自販機」



ベビー用紙おむつとおしりふきが購入できる自動販売機をなんば駅など計7駅に設置。紙おむつ自販機の隣には、飲料やお菓子などを併売する自販機も設置。

京浜急行電鉄 京急川崎駅他 「ベビーカーシェアリングポート」



スマホのアプリを利用してベビーカーを好きな場所で借り、好きなところで返せるレンタルサービスを導入。

観光列車における取組

- 観光列車においても、小さなお子様連れのお客様が利用しやすい座席やスペースが設置されている事例がある。
- 国土交通省においては、移動そのものを楽しむ取組や新たな観光ニーズへの対応を目的として観光列車の導入に対し支援を行っている。

和歌山電鐵「たま電車ミュージアム号」



デザイン：水戸岡鋭治氏



車内に子供向けスペースや、木製のからくりを設置。ソファ席も設置され、お子様連れが利用しやすい。車内に自由にお読みいただける本棚があり、主にお子様向けの絵本や児童書を配架している。

※たま電車ミュージアム号導入に際し、国土交通省はR3年度観光振興事業費補助金を交付

えちぜん鉄道「恐竜列車」



家族連れを中心とした福井県立恐竜博物館の来館者向けに運行。

車内に恐竜のモニュメントが複数設置されているほか、お子様連れが利用しやすいボックス席を複数設置。

※恐竜列車導入に際し、国土交通省はR3年度訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金を交付